



令和2年 5月 ほけんだより



新型コロナウイルス感染症拡大が続く中、毎年迎える5月とは異なる事も多くなっていますが、屋上やデッキでは、空をバックにこいのぼりが泳ぎ、子どもたちが毎日見上げています。子どもの日には、「災いから子どもの身を守ってください」という思いが込められています。不安な日々が続いていますが、一人ひとりが出来る予防をし、自分や家族、周りの人々を守るための行動を続けていきましょう。引き続き登園自粛のご協力をよろしくお願いいたします。



【お薬について】

園では、原則として飲ませることができません。やむを得ず薬を持参される場合は、「連絡票～お薬依頼書～」に必要事項を記入して、薬と一緒に保育士に必ず手渡しし確認してもらって下さい。

- * 医師の処方以外の薬はお預かりできません。
- * 薬は1回分を持参する。(水薬は1回分を別の容器に移してください)
- * 解熱剤・市販のお薬はお預かりできません。
- * 今回の症状に対して処方されたお薬に限ります。(前回の残った薬はお預かりできません)
- * 飲み薬は毎回連絡票が必要になります。
- * 塗り薬・点眼薬・点耳薬についても連絡票の提出をお願いしています。

同じ症状の場合は、1枚で対応しますが、薬は預かることができませんので毎日持参してください

【感染症の登園基準届出について】

感染症とは、ウイルスや細菌などが体の中に入り増殖して起こる病気のことです。これらは飛沫や接触により人から人へ感染していきます。保育園は集団で長時間生活を共にする場所です。感染症の集団での流行を出来るだけ防ぐために登園の基準が定められておりそれぞれの届け出をお願いします。(那覇市子どもみらい課より)

- * 意見書 (完治証明書に代わるもので意思が記入するもの)
- * 登園届 (保護者が記入するもの)
- * インフルエンザ登園許可願 (インフルエンザに感染し回復して登園する場合に保護者が記入するもの)



大きな病気ではないが、1年を通して繰り返しやすい病気があります。正しい知識を身につけて予防を心がけていきましょう。

①急性中耳炎

3歳くらいまでは、鼻と耳をつなぐ「耳管」が太く短いため、鼻やのどに付いた細菌が耳管を通して耳に感染し炎症を起こします。ほとんどが発熱し、痛みで不機嫌になることもあり、耳をいじるようなしぐさをします。また食欲が落ちたり耳だれの症状が見られることもあります。鼻や喉のかげから中耳炎を引き起こすことが多いので、風邪が治った後も経過を見守り異変を見逃がさないようにしましょう。

②急性副鼻腔炎

副鼻腔という鼻の横の空洞に細菌が入り炎症が起こります。鼻水がなかなかなくなる、いびきをかくなどの症状が見られます。鼻水は黄色っぽくねばねばしているのが特徴です。
* 繰り返しているうちに治りにくくなり慢性化していくことがあるので、症状が出るたびに治療をすることが大切です。



